

令和6年度 全国学力・学習状況調査 鶴ヶ島市 結果概要 中学校

4 教科に関する調査 中学校・数学

平均正答数
出題数に対する正答数の平均値

平均正答率
問題数を100%としたときの正答数の割合

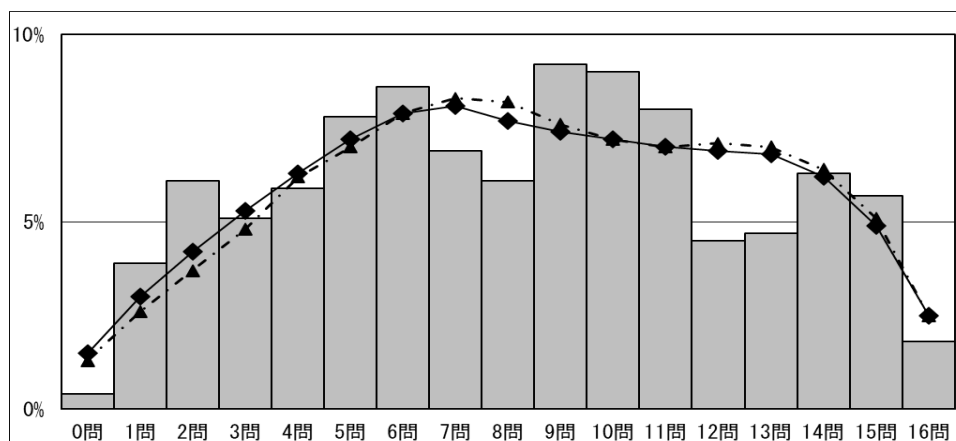
(1) 全体

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率(%)
鶴ヶ島市	8.2/16	51.0
埼玉県(公立)	8.6/16	53.0
全国(公立)	8.4/16	52.5



(2) 正答数分布

※棒グラフが本市、-▲-が埼玉県、-◆-が全国の分布 横軸:正答数 縦軸:生徒の割合



(3) 学習指導要領の領域等 平均正答率 (単位%)

領域等	鶴ヶ島市	埼玉県(公立)	全国(公立)
数と式	49.5	51.1	51.1
図形	39.2	42.4	40.3
関数	57.8	61.1	60.7
データの活用	56.4	57.1	55.5

(4) 中学校数学の状況

【総括】 中学校3年生の数学において、平均正答率は全国と同程度であった。

○正答率が全国に比べて高かった問題

- ・与えられたデータから最頻値を求める問題(データの活用)
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題(データの活用)
- ・筋道を立てて考え、証明する問題(図形)

●正答率が全国に比べて低かった問題

- ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる問題(関数)
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する問題(数と式)
- ・事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の家庭や結果を振り返り、新たな性質を見いだす問題(図形)